

Asian Network for GIS-based Historical Studies (ANGIS) Tokyo 2021

開催のお知らせ

Asian Network for GIS-based Historical Studies (ANGIS) 学会では、第7回年次大会 **ANGIS Tokyo 2021** を、**2021年12月4日(土)・5日(日)** にオンライン形式で開催いたします。大会での口頭発表を下記の要領で募集いたします。奮ってご参加ください。

開催日時： 2021年12月4日(土)・5日(日)

開催形式： リモート (Zoom)

使用言語： 英語

発表アブストラクト応募締め切り：2021年9月30日(木)

(間に合わない場合は、大会事務局 angistokyo@gmail.com まで直接ご連絡下さい)

参加登録サイト： <https://www.angis-2021.jp/submission.html>

発表・参加費： 無料

ANGIS とは

ANGIS (<http://angis-japan.org/>) は、GIS を応用してアジア地域の歴史研究を行う研究者のネットワークです。2012年の設立以来、年次大会を開いて研究成果を共有すると共に、査読付き学術雑誌 JANGIS (年刊 E-journal, ISBN: 2434 7094) を刊行しています。

ANGIS Tokyo 2021 について

大会共通論題として、“Human and Waters in Asia: How Rains, Rivers, Coasts, and Seas Have Shaped History” を設定しています。アジア域内の多くの地域は、湖沼や河川、海岸といった水に囲まれた地形によって特徴づけられています。乾燥地帯でも、水へのアクセスは生存の重要条件です。水をめぐる地域の歴史の可視化と分析から、新しい歴史研究を探求することを提案いたします。

大会では、共通論題以外のテーマに関する報告も歓迎いたします。GIS を応用した様々な地域や時代に関する研究や、手法に関するペーパーやセッションの応募をお待ちしております。ANGIS Tokyo 2021 は、歴史研究、GIS、地理学、水文学を始めとする、多分野の研究者が、最先端の研究成果を発表し、交流する場として開かれています。

大会組織委員会

小川道大 東京大学東洋文化研究所

川崎昭如 東京大学未来ビジョンセンター

神田さやこ 慶應義塾大学経済学部

城山智子 東京大学大学院経済学研究科

主催

科学研究費基盤研究(S)「近代アジアにおける水圏と社会経済 — データベースと空間解析による新しい地域史の探求」(代表：東京大学大学院経済学研究科・城山智子 教授)